

楠発行にあたって

校長 原 拓史

前橋南高校の生徒の皆さん、保護者の皆さま、そして、この生徒会誌をご覧いただいている皆様。この誌面を通じて、学校生活における生徒の成果や成長を共有できることをたいへんうれしく思います。

前橋南高校は「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を最上位目標とする県のSAHの指定校になり二年目となりました。これからの変化の激しい社会に対応していくためには、一人ひとりがエージェンシーを発揮し当事者としての意識をしっかりと持つことが必要になると思われまます。今後は、社会の課題を自ら見つけ、その解決に向けて主体的に取り組む力がますます求められるようになるでしょう。そのため、本校では生徒たちが日々の学校生活を通じてこのような力を磨けるよう、生徒の主体的な活動を支援しています。

今年度も生徒達は生徒会や各委員会、学年、クラス、授業、部活動と様々な場で主体的な活動を行ってきました。学校行事や色々な活動を自分たちで企画・運営し、学校を活性化させました。例えば、夏の野球部への応援や修学旅行などです。野球部の応援では生徒会が中心となり、生徒自身が企画、調整、募集、応援指導等を行い、実現をすることができました。一丸となって野球部の部員に声援を送る姿は野球部員のプレイする姿とともに熱意あふれるものでした。また、修学旅行では修学旅行委員会を中心に、生徒が自らUSJへ行き先を取り入れ、服装等のルールを調整、設定したり、保護者に説明する動画を作成したりするなど、仲間と協力し、修学旅行を作り上げることができました。まさに、生徒達の修学旅行だったと感じました。他にも色々な生徒の主体的な活動が見られました。これらの活動はまさに「自ら考え、判断し、行動する」を体現していたと思います。

現在、生徒達は生徒会が中心となり二年連続の楠祭を実施しようとして試みています。もしかしたら、うまくいかないことや失敗を経験するかもしれませんが。それでも、自分たちの力で新たなものを創り出そうとすることは確実に生徒の成長につながると信じています。職員一同で生徒達を見守り、支援していきたいと考えています。

この生徒会誌「楠」は生徒の活動を振り返り、未来へ一歩を踏み出すきっかけとなる大切な記録です。また、この記録は今の生徒達の熱意と行動力、そして創造性を後輩達へ伝える貴重な教材となるはずです。この生徒会誌「楠」の作成に尽力をしてくださった皆さんに心より感謝申し上げます。